Victor "HIS MASTER'S VOICE"

取扱説明書

マイクロコンポーネントシステム

型名
UX-SH5-B
UX-SH5-P
UX-SH5-S
UX-SH5-W

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

MP3/WMA

Made for iPod iPhone

お買い上げいただきありがとうございます

⚠ご使用の前に
この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。
●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/

❍ 付属品の確認

お使いになる前にお確かめください。

- リモコンRM-SUXSH5-W（1個）
- リチウム電池CR2025（1個）
（出荷時にリモコンの中に入っています）
- FM簡易型アンテナ（1本）

- 本書では、主に**リモコンのボタンを使って**操作説明をしています。
本体にも同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPhoneとiPod touchを含めます。iPhoneとiPod touchを指すときは、「iPhone」「iPod touch」と表記します。
- 本書ではMP3/WMAの説明をする場合、「ファイル」と「曲」は同じ意味で使っています。

LVT2170-001C
0610YAMMDWDAT

本機を設置するときは
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、カーテンなどで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない

主な仕様

本体(CA-UXSH5-B/-P/-S/-W)

共通
- 電源電圧　AC 100 V(50 Hz/60 Hz共用)
- 消費電力　16 W(電源入時)
1.00 W以下(電源待機時)
- 寸法　幅165 mm × 高さ250 mm × 奥行き226 mm
- 質量　約2.3 kg

音声出力
- アナログ出力端子
スピーカー
実用最大出力　20 W + 20 W
(JEITA THD10%/6 Ω)*
適合インピーダンス　6 Ω ～ 16 Ω
PHONES(φ3.5 mmステレオミニ)
16 Ω ～ 1 kΩ

音声入力
- 入力端子
AUDIO IN
NORMAL　500 mV/47 kΩ
HIGH　250 mV/47 kΩ
iPod　DC 5 V ⎓ 500 mA
USB
仕様　USB2.0フルスピード規格対応
対応機器　USBマスストレージクラス機器
ファイルシステム　FAT16、FAT32
USB出力電源　DC 5 V ⎓ 500 mA

チューナー
- FMチューナー
受信周波数　76.0 MHz ～ 90.0 MHz
アンテナ　75 Ω不均衡型

再生可能なファイル
- CDプレーヤー部　音楽CD/MP3/WMA
- USB部　MP3/WMA
- 再生可能ビットレート
MP3/WMA: 64 kbps ～ 192 kbps

スピーカー(SP-UXSH5-B/-P/-S/-W)
- スピーカー　フルレンジ バスレフ型
- スピーカーユニット　11 cm × 1
- 許容入力　20 W
- インピーダンス　6 Ω
- 寸法　幅140 mm × 高さ250 mm × 奥行き134 mm

質量(1本あたり)　約1.3 kg

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- *はJEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。

ディスク/ファイル/iPodについて

お手入れについて

快適にお使いいただくために、常にディスクや本機を清潔に保ってください。

ディスクの取り扱い
出すとき　入れるとき

- ディスクをケースから出すときは、中央の穴を軽く押しながら、ディスクの端を持ってください。
- ディスクの光沢面を触ったり、折り曲げたりしないでください。
- 使用後はケースに戻してください。
- ケースに入れるときに、ディスクの表面を傷つけないように気をつけてください。
- 直射日光や高温多湿をさけてください。

ディスクの掃除
柔らかい布で、内側から外側へまっすぐふきとってください。

必ず内側から外側へ　連続したキズは音飛びの原因となります。

本体の掃除
- パネルの操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとからからぶきをしてください。
- キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、シンナーやベンジンなどの溶剤は使わないでください。また、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

ディスク/ファイルのご注意

- 本機で再生できるディスク/ファイルは以下のとおりです。
– 音楽CD(「COMPACT disc」のロゴのあるディスク)
– 音楽CD(CD-DA)フォーマットのCD-R/CD-RW
– CD-R/CD-RW(フォーマットはISO 9660 Level 1またはLevel 2)のMP3/WMAファイル
– USB機器(最大転送速度は2 Mbps)のMP3/WMAファイル
- 本機では「パケットライト方式」でフォーマットされたディスクは再生できません。
- 本機はディスク1枚またはUSB機器1台あたり、99グループと999曲まで認識できます。
- MP3/WMAファイルについて
– 本機では拡張子が<.mp3>または<.wma>のMP3/WMAファイルが再生できます。
– 録音状態や記録方法によっては再生できないMP3/WMAファイルもあります。
– MP3/WMAファイルはサンプリング周波数44.1 kHzと、転送レート128 kbpsのビットレートで作成することをおすすめします。
– 本機ではタグ情報(version1)を表示できます(ただし半角英数字のみ)。

iPodについて

Made for（対応iPod）	音楽	ビデオ
iPod nano(第5世代)	○	○
iPod nano(第4世代)	○	○
iPod nano(第3世代)	○	○
iPod nano(第2世代)	○	—
iPod nano	○	—
iPod touch(第3世代)	○	○
iPod touch(第2世代)	○	○
iPod touch	○	○
iPod(第4世代)	○	—
iPod classic	○	○
iPod photo(第4世代)	○	○*
iPod video(第5世代)	○	○
iPod mini(第2世代)	○	—
iPod mini	○	—
iPhone 4	○	○
iPhone 3GS	○	○
iPhone 3G	○	○

* 静止画のみ
- iPodが正しく再生されないときは、iPodの最新版ソフトウェアをダウンロードし、アップデートしてください。
– iPodについて詳しくは、アップル社のウェブサイトをご覧ください。<http://www.apple.com/jp/>

故障かな？と思ったら

ビクターホームページ(http://www.victor.co.jp/)から最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。
修理を依頼する前に、下記の項目をチェックしてみてください。

共通

電源が入らない。
➡ 電源コードの接続を確認してください。

設定の途中で操作が取り消されてしまう。
➡ 操作には時間制限があるものがあります。もう一度操作し直してください。

リモコンから本体を操作できない。
➡ リモコンと本体のリモコン受光部との間を遮らないようにしてください。
➡ 新しい電池に交換してください。

スピーカーからが音が出ない。
➡ スピーカーコードを正しく接続してください。
➡ ヘッドホンのプラグを抜いてください。

FMラジオの操作

雑音が多く放送が聞きづらい。
➡ アンテナを正しく接続してください。
➡ アンテナを調整し直すか、本機の設置場所を変えてください。
➡ 本機の電源を切り、入れ直してください。

iPodの操作

表示窓に「CONNECT」と表示されているのにiPodが再生できない。
➡ iPodを充電してください。

表示窓に「PLEASE IPOD CHECK」と表示される。
➡ iPodの接続を確認してください。

ディスク/USB機器の操作

ディスクやUSB機器の再生が始まらない。
➡ ディスクの文字のある面を上にして入れてください。
➡「パケットライト(UDF形式)」で録音されたディスクは再生できません。
➡ USB機器を正しく接続してください。

表示窓に「NO FILE」と表示される。
➡ ディスクまたはUSB機器にMP3/WMAファイルが録音されていません。

パソコンを使って記録したMP3/WMAのグループやトラックが意図した順番で再生できない。
➡ 再生順はグループやトラックを録音した書き込みソフトで決まります。

ディスクやUSB機器からの音声が途切れる。
➡ 汚れや傷のあるディスクは、清掃するか交換してください。
➡ 本機の電源を切り、USB機器を接続し直してください。
➡ 正しく書き込まれたMP3/WMAファイルを再生してください。

ディスクトレイの開閉ができない。
➡ チャイルドロックを解除してください。(2ページの「ディスク/USB機器」をご覧ください。)

タイマーの操作

デイリータイマーが作動しない。
➡ 電源コードを抜いたり、停電で電源が切れて、時計の設定がお買い上げ時の設定に戻る場合があります。時計を設定してから(「お使いになる前に」をご覧ください)、もう一度デイリータイマーを設定してください(「タイマー」をご覧ください)。

録音の操作

USB機器に録音できない。
➡ USB機器の空き容量がありません。
➡ USB機器の書き込み禁止を解除してください。
➡ すでに最大ファイル数(999)または最大フォルダ数(99)録音されています。不要なファイルを削除してください。

上記の処置をしても正しく動作しないときは
本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっています。万一、どのボタンを押しても正しく動作しないときは、一度電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなぎ直してください。

❍ リモコンの準備

初めてリモコンを使用するときには、リモコンの絶縁シートを引き抜いてください。

電池の交換方法:

リチウム電池(CR2025)
- ＋を上にして入れる

リモコン(背面)

ご注意:
- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 電池は、「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい電池と交換してください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

- Microsoft、Windows Mediaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- "Made for iPod"、"Made for iPhone"とは、それぞれiPod、iPhone専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリーをiPod、iPhoneで使用すると、無線性能に影響することがありますので、ご注意ください。

- iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- "Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

接続する

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

ご注意:
- 両方のスピーカーが正しく、しっかりと接続されていることを確認してください。
- スピーカーコードを接続する場合は、+と－を間違えないようにしてください。
- 1つのスピーカー端子に複数のスピーカーを接続しないでください。
- スピーカーコードの導線部分を本体の金属部分に接触させないでください。
- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。
- 本機のスピーカーは防磁設計になっておりません。テレビの近くに設置するときは、テレビに色ムラが生じない位置まで離してください。

電源を入れたまま電源プラグをコンセントから抜かないでください。記憶した設定値が消去される場合があります。

❍ マンションなどの壁の共聴アンテナ端子またはFM屋外アンテナを使うとき

電波状況が良くないときは、フィーダーアンテナCN-511B(別売り:300 Ω対応)をご利用いただくと改善される場合があります。
この場合もアンテナコネクター(市販品)が必要です。
- 付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクターの取扱説明書を参照してください。
- アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください。

ご注意:
ケーブルテレビ会社と契約しているマンションの共聴アンテナ端子に本機のFM端子を接続している場合は、FM放送局の周波数が通常と異なることがあります。詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

時計/音/表示窓の設定

お使いになる前に

デモ表示を解除する

電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れたまま2分間操作をしないと、デモ表示が始まります。デモ表示を解除するには、以下の操作を行なってください。

(本体のボタンで操作します)

DEMO を押しつづける

時計を設定する

1 時計/タイマー

「CLOCK」と「ADJUST」が交互に表示されます。

2 決定

3 時計を設定する

- 操作の途中で間違いを修正するには、[キャンセル]を押します。前の手順に戻ることができます。

- 時計を設定しないと、時刻は表示されません。
- 本機の時計は月に1、2分程度のズレが生じる場合があります。定期的に時刻を合わせ直すことをおすすめします。

❍ 表示窓の設定

表示窓の明るさを変える

表示窓やランプの明るさを変えることができます。

ディマー

DIMMER 1 → DIMMER 2 → DIM OFF

表示窓の情報を変える

表示

例:音楽CDを聞いているとき

00I 0600
再生経過時間 ←→ 時刻

- ソース(音源)によって、表示される情報は異なります。

❍ 音を調節する

一時的に消音する

消音

- もう一度押すか、音量を調節すると、元の音量に戻ります。

音を際立たせる(サウンドターボ)

サウンドターボ

TURBO ON → TURBOOFF

重低音を強める

スーパーバス

HBS ON → HBS OFF

低音(BASS)と高音(TREB)を調節する

1 低音/高音
BASS / TREB

2 レベルを調節する
- 調節範囲は-4から+4です。

❍ タイマー

おやすみタイマーを使う

オートスタンバイ スリープ

SLEEP 10 → SLEEP 20 → SLEEP 30 → • • •
SLEEPOFF ← SLEEP180 ←

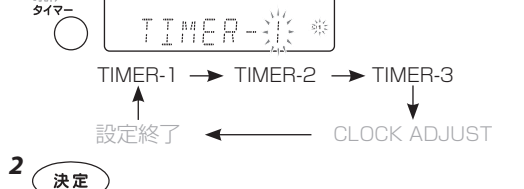
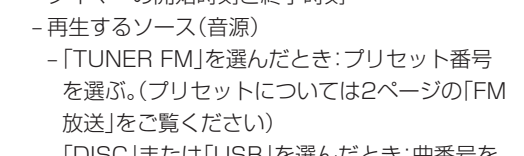
- 単位は分です。
- 残り時間を確認するには、[スリープ]を1回押します。

デイリータイマーを使う

デイリータイマーを使うと、お好みの音楽で目覚めることができます。
- あらかじめ時計を設定しておいてください(「お使いになる前に」をご覧ください)。
- 最大3件まで登録できます。
- デイリータイマーを設定する前に、あらかじめ再生したいソース(音源)を準備してください。

1 設定したいデイリータイマーの番号を選ぶ

時計/タイマー

2 決定

3 タイマーの内容を設定する

– タイマーの開始時刻と終了時刻
– 再生するソース(音源)
– 「TUNER FM」を選んだとき:プリセット番号を選ぶ。(プリセットについては2ページの「FM放送」をご覧ください)
– 「DISC」または「USB」を選んだとき:曲番号を選ぶ。(MP3/WMAファイルのときは、グループ番号を選び、曲番号を選ぶ)
– 音量

DAILYSET

- 操作の途中で間違いを修正するには、[キャンセル]を押します。前の手順に戻ることができます。

4 設定を終了する
時計/タイマー をくり返し押す

5 電源を切る
⏻/I
STANDBYランプが点滅します。
- 電源を切っているときは、⏲表示は点灯しません。
- デイリータイマーは電源が切れているときのみ動作します。

デイリータイマーを解除する

1 解除したいデイリータイマーの番号を選ぶ
時計/タイマー

2 デイリータイマーを解除する
メニュー/キャンセル
選んだデイリータイマーの番号が消灯します。
- デイリータイマーの内容は記憶されます。

3 設定を終了する
時計/タイマー をくり返し押す
⏲表示が消灯します。

自動的に電源を切る(オートスタンバイ)

ソース(音源)が「CD」「USB」または「iPod」のとき、本機の電源を自動的に切ることができます。

オートスタンバイ スリープ を押しつづける

A.STBY SET ←→ A.STBY CANCEL

「A.STBY」と「SET」が交互に表示されます。
- 再生が終わると**A.STBY**表示が点滅します。3分間停止状態がつづくと、電源が切れます。
- おやすみタイマーを使っているときは、オートスタンバイを使うことはできません。
- 本機のオートスタンバイ機能は、iPod mini(第1および第2世代)、iPod photo(第4世代)、iPod(第4世代)には対応していません。

基本操作

ヘッドホンを使うときのご注意:
ヘッドホンをつける前や、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前には、必ず音量を最小にしてください。
・ヘッドホンを接続するとHP表示が点灯し、スピーカーから音が出なくなります。

極端に音量を上げた状態で電源を切らないでください。
次に電源を入れたときに、突然大きな音が出て、スピーカーやヘッドホンが破損したり、聴覚障害の原因となることがあります。

FM放送

本機はAM放送には対応していません。

放送局を選ぶ

1
TUNER FM ◄► AUDIO IN

2 [◄◄]または[►►]を押しつづける
自動的に選局を始め、放送を受信するととまります。
・選局をとめたいときは、もう一度押します。

・手順2でボタンをくり返し押すと、0.1 MHzずつ変わります。
・FMステレオ放送を受信すると、S(Stereo)表示が点灯します。

FMモードを切り替える

FMステレオ放送が聞き取りにくいときに

MONO ◄► STEREO

・音声がモノラルになり、聞きやすくなりますが、ステレオ効果はなくなります。

放送局を記憶させる(プリセット)

最大30局まで記憶させることができます。
記憶させたい放送局を受信中に

1

2 記憶させたい番号を選ぶ。
3 決定

記憶した放送局を削除する
1 削除する放送局を呼び出す
(下記の「放送局を呼び出す」をご覧ください。)

2

3 決定

放送局を呼び出す

外部機器

再生する

1
TUNER FM ◄► AUDIO IN

2 外部機器を再生する

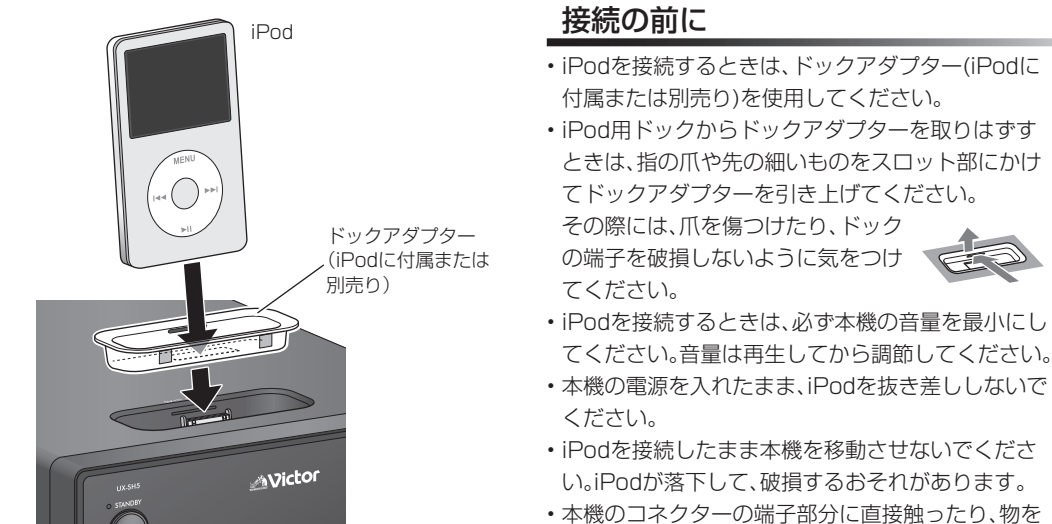
音声入力レベルを設定する

AUDIO IN端子に接続した外部機器の音声が小さすぎる場合、音声入力レベルを適切に設定することで、他のソース(音源)と音量を合わせることができます。

HIGH ◄► NORMAL

・スピーカーからの音声にのみ効果があります。

iPod

接続の前に

・iPodを接続するときは、ドックアダプター(iPodに付属または別売り)を使用してください。
・iPod用ドックからドックアダプターを取りはずすときは、指の爪や先の細いものをスロット部にかけてドックアダプターを引き上げてください。
その際には、爪を傷つけたり、ドックの端子を破損しないように気をつけてください。
・iPodを接続するときは、必ず本機の音量を最小にしてください。音量は再生してから調節してください。
・本機の電源を入れたまま、iPodを抜き差ししないでください。
・iPodを接続したまま本機を移動させないでください。iPodが落下して、破損するおそれがあります。
・本機のコネクターの端子部分に直接触ったり、物を当てたりしないでください。破損の原因となります。
・本機の電源が入っている間、iPodは充電されます。
・本機からiPodに録音することはできません。

接続したテレビでiPodの映像を見る前に
iPodの映像出力を正しく設定してください。詳しくは、iPodの取扱説明書をご覧ください。

再生する

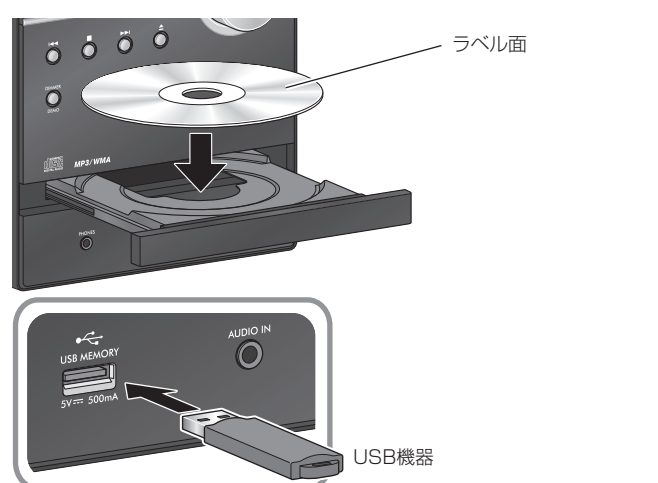
＊表示窓に表示される情報はiPodの種類により異なります。

再生、または一時停止する
[iPod►/II]を押す
曲を選ぶ
[►►]または[◄◄]を押す
早送りする
[►►]を押しつづける
早戻しする
[◄◄]を押しつづける
ランダム再生する
[ランダム]をくり返し押す
リピート再生する
[リピート]をくり返し押す
iPodをスリープさせる
[iPod►/II]を押しつづける

メニューの操作

メニューを表示する/前のメニューに戻る

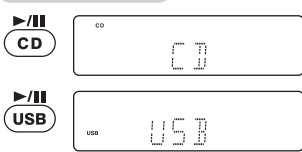
項目やメニューを選ぶ

ご注意:
・iPhoneまたはiPod touchの接続中に次の操作を行なうときは、iPhoneやiPod touchで操作します。
－ホームボタンを押す
－ホーム画面でアプリケーションアイコンを選ぶ
－スライダーをドラッグする
・iPodのイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。iPodの操作については、iPodの取扱説明書をご覧ください。

ディスク/USB機器

接続の前に

・USB機器を接続したりはずしたりするときは、本機の電源を切ってください。電源が入っていると、本機やUSB機器の故障の原因となります。
・USB機器をはずすときは、音量を最小にしてください。
・USBハブは使用しないでください。
・ソース(音源)が「USB」になっているときは、USB機器が充電されます。
・USB機器の再生について
－収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くかかります。
－2ギガバイト以上のファイルは再生できません。
－USB機器のなかには、本機で再生できないものがあります。また、本機はDRM(Digital Rights Management)には対応していません。そのため、パソコンでインターネットからダウンロード購入したファイル(著作権保護されたファイル)などは再生できません。

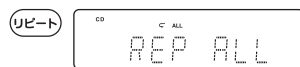
再生する

CD ［CD］
USB ［- USB］

ディスクトレイを開く
本体の[▲]を押す
ディスクを再生、または一時停止させる
[CD►/II]を押す
USB機器を再生、または一時停止させる
[USB►/II]を押す
曲を選ぶ
[►►]または[◄◄]を押す
早送りする
[►►]を押しつづける
早戻しする
[◄◄]を押しつづける
グループを選ぶ
[UP]または[DOWN]を押す
停止する
[■]を押す

ディスクの取り出しをロックする―チャイルドロック

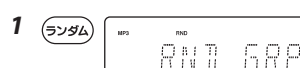
ディスクを取り出せないように設定できます。小さなお子様のいたずら防止などに便利です。

電源が切れているときに
(本体のボタンで操作します)
■を押しながら ▲を押す

LOCKED ◄► UNLOCKED

リピート再生する

REP TRK	↻ 1	現在の曲をくり返す
REP GRP	↻	現在のグループをくり返す(MP3/WMAのみ)
REP ALL	↻ ALL	すべての曲をくり返す
REP OFF	表示なし	リピート再生を解除する

ランダム再生する

1 ランダム ［RND GRP］

RND GRP	RND	現在のグループの曲をランダム(無作為)な順で再生する(MP3/WMAのみ)
RND ALL	RND ALL	すべての曲をランダム(無作為)な順で再生する
RND OFF	表示なし	ランダム再生を解除する

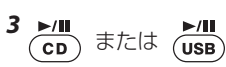
2 CD►/II または USB►/II

プログラム再生する

再生が停止中に

1

2 曲番号を選ぶ
・32曲まで登録できます。
・最後に選んだ曲を消去するには、[キャンセル]を押します。

3

・プログラム内容を確認するには、[◄◄]または[►►]を押します。
・プログラム内容を消去するには、[キャンセル]を押し続けます。PRGM表示が消灯します。
・プログラム再生を解除するには、[■]を押します。PRGM表示が消灯します。
－プログラムの内容は記憶されます。

リジューム再生する

再生を中断した位置を記憶させることができます。次に再生したときに、中断した位置から再生が始まります。

・[■]を2回押す(またはディスクトレイを開けるかUSB機器をはずす)と、次に再生したときは1曲目から再生が始まります。
・プログラム再生中は、リジューム再生はできません。

音楽CDからUSB機器へ録音する

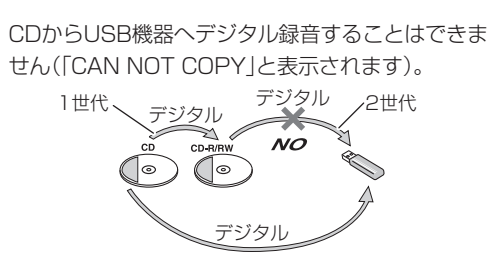
録音する

・録音中、本機の音量・音質を変えても録音される音声には影響ありません。
・録音時、ディスクのリピート再生やランダム再生はできません(自動的にキャンセルされます)。
・ファイル形式はMP3(ビットレート:128 kbps)で録音されます。
・等倍速で録音されます。
・録音する前に、USB機器をUSB MEMORY端子に接続してください。
・録音するとUSB機器に「MUSIC」というフォルダと、その中に「AUDIO01」という名前のグループが自動的に作成されます。
・再生が終わると、録音も自動的に止まります。
・録音を途中でやめるには、[■]を押します。停止したところまで録音されます。

ご注意:
・録音中に本機を揺らさないでください。録音が正常に行なわれない可能性があります。
・MP3/WMAファイルが記録されたCD-R/CD-RWから、USB機器へ録音することはできません。

SCMS (Serial Copy Management System)

CDのクリアな音を他のデジタル機器(USB機器など)にデジタル録音した場合、一度録音した機器から他の機器に再びデジタル信号のままコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」を作ることはできません。この決まりをSCMS(シリアル・コピー・マネージメントシステム)といいます。SCMSとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは1世代だけと規定したものです。本機は、この決まりに準拠して設計されていますので、一度デジタル録音された

CDからUSB機器へデジタル録音することはできません(「CAN NOT COPY」と表示されます)。

CDをまるごと1枚録音する
録音したいCDの再生を停止中に
CD-USB録音 ［ALL REC］

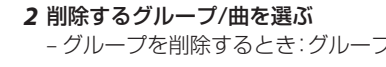
1曲だけ録音する
録音したい曲を再生中に
CD-USB録音 ［TTL REC］

プログラムした曲順で録音する
プログラム再生を停止中に
削除する

USB機器に録音されている曲を削除することができます。
・削除した曲やグループは、元に戻すことはできません。よく確認してから削除してください。
(特に全曲を削除する場合、USB機器に入っているMP3/WMAファイル以外のデータもすべて削除されますので、ご注意ください。)

・曲を削除する前に、USB機器をUSB MEMORY端子に接続してください。
・途中で削除をやめるには、[キャンセル]を押します。

1 USB►/II ► ■

2 削除するグループ/曲を選ぶ
－グループを削除するとき:グループを選ぶ
－1曲だけ削除するとき:曲番号を選ぶ
－全曲削除するとき:手順3に進む

3 削除
4 消しかたを選ぶ
－グループを削除するとき:「GRP DEL」を選ぶ
－1曲だけ削除するとき:「TTL DEL」を選ぶ
－全曲削除するとき＊:「DEL ALL」を選ぶ
＊USB機器に入っているMP3/WMAファイル以外のデータもすべて削除されます

5 「DEL YES」を選ぶ
・削除をやめるときは、「DEL NO」を選びます。

6